

2024年 新年の干支 「甲辰(きのえたつ・こうしん)」に思う

— 春の日差しが、あまねく成長を助く年!! —

価値の連鎖(バリューチェーン)で木材の価値を守り、高める!

株式会社 山西 あすなる会顧問
代表取締役社長 西垣 洋 一

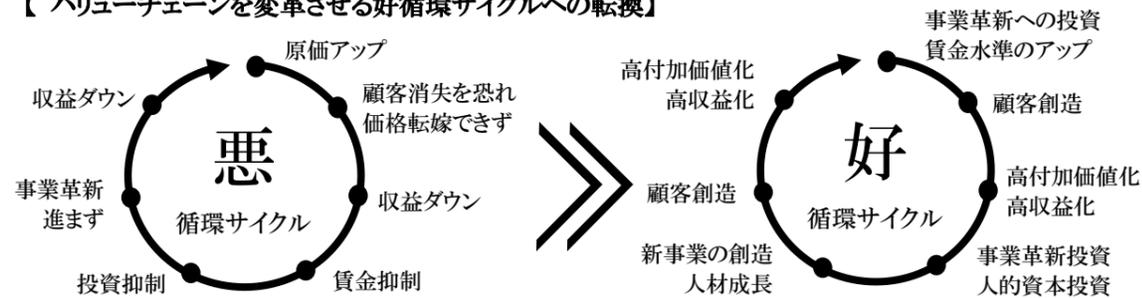
新年を迎え謹んで新春のお慶びを申し上げます。
旧年中はあすなる会の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

2024年の干支は、「甲辰(きのえたつ・こうしん)」になります。「甲」は草木が成長し勢いを増す様を表し、十干の最初にあたり、物事の「はじまり」を象徴します。「辰」は「ふるう、ととのう」を意味する「振」で、陽気が動いて万物が振動し、草木もよく成長して形が整った状態を表しており、植物の成長の過程を意味しています。これらを合わせて考えると、2024年の干支、「甲辰」は、「春の日差しが、あまねく成長を助く年」、つまり暖かい日差しが大地すべてのものに平等に降り注ぎ、急速な成長と変化を誘う年だとされています。

現在の社会情勢は、コロナウイルスのパンデミックが収束してもなお、各地の紛争、異常気象、インフレ等、世界中が揺れ動いており、コロナ禍以降、激動の時代に突入していることは誰もが実感していることかと思えます。物価、為替、金利、株価等、様々な動きが絡み合っており、変化のスピードも速まっています。我々木材・住宅業界においても、新築住宅市況はかつてないほどの低迷に陥っており、特に戸建の受注、着工は厳しい様相を呈しており、新設住宅着工戸数は70万戸時代に突入するかと思われます。又、今年度以降、物流、建設業界の時間外労働の規制といった「2024年問題」や4号特例縮小、省エネ基準の適合義務化などの「2025年法改正」の対応など業界を取り巻く環境は問題・課題を多く抱えています。

その一方、CO2を始めとする温室効果ガスの排出の影響により気候変動、汚染、生息地の消失など地球温暖化は予断を許さない状況です。世界的に環境問題への危機感が高まる中、2050年カーボンニュートラル実現に向けて我々の木材・住宅業界には、CO2を吸収する森林の公益性や木造住宅の推進による炭素固定、製品化での環境負荷低減などで、その役割が期待されています。幸いにも日本には先人が築き上げた豊富な森林資源が育成され、成熟し、利用期を迎えています。こうした豊富な森林資源を循環利用する持続可能な木材の安定供給体制と木材の価値を守り、高めるためには、川上～川中～川下が互いに刺激し合う形のバリューチェーン(価値を認め合う連鎖)の変革が必要です。これまで以上に業界の相互関係、他業種との連携・協調、地域における産官学との交流を強化し、木材利用の新たな価値を創造していかなければなりません。

【バリューチェーンを変革させる好循環サイクルへの転換】



今後も不安定な社会状況と市場・需要低迷は当面続くものと予想されますが、このような厳しい経済環境の中、私は座右の銘である「疾風に勁草を知る」、「歳寒くして松柏の凋むに後るるを知る」という言葉を思い起こします。どちらも逆境に陥った時に、初めてその人の真価がわかるものだという意味ですが、今こそこの逆風が吹く中、木材・住宅業界の真価を発揮する時であり、新たな価値創造、顧客創造に向けて実践していく年だと思えます。

最後になりますが、本年の干支にちなんだ格言(右図参照)を紹介させて頂き、皆様のご健康と事業発展を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

龍吟ずれば雲起こり

虎嘯けば風騒ぐ

龍がうめき、啼けば

雲が湧き立ち

虎がほえれば

風が吹き起こる

同じ考えや志を持った者は

相手の言動に

気持ちが通じ合い、

互いに相応じあう。

決断し、敢然と立ち上がり

躊躇なく物事を進めれば、

時勢は呼応する。



◆干支の智慧 - 甲辰(きのえたつ・こうしん) -

「本年の干支は、「甲辰」になります。「甲辰」が意味するところは本文に書いてある通り、「春の日差しが、あまねく成長を助く年」、つまり暖かい日差しが大地すべてのものに平等に降り注ぎ、急速な成長と変化を誘う年だとされています。令和5年は新型コロナウイルスの影響が収束に向かいつつ、国内では暴風による災害や猛暑などが各地を襲い、経済もロシアによるウクライナ侵攻や円安の影響を大きく受けました。今年の干支「辰」(龍)は架空の動物ですが、神様同様に信仰の対象として愛されてきました。力強く空へと昇っていく龍のように令和6年は上昇の年にしたいものです。」

◆干支の格言 (「辰(龍・竜)」にちなんだ諺・経営語録)

- ・「飛龍雲に乗る」
機を見るに敏なり、機会を見極めて時代の流れに乗って、英雄や賢者が才能を発揮すること。
- ・「画竜点睛(がりゅうてんせい)」
わずかなことであるがそれを加えることによって物事が完成、成就することのたとえ。
- ・「臥竜鳳雛(がりょうほうすい)」
優れた人物が好機をつかめず、世間に隠れていることのたとえ。
- ・「群竜無首(ぐんりゅうむしゅ)」
多くの竜がいても、頭目の竜がいない。指導者を欠き、物事がうまく運ばないたとえ。
- ・「竜馬の躓き(りゅうめのつまづき)」
どんなに優秀な馬でも時には躓く。名人でも失敗するし、賢人でも間違いを犯すというたとえ。
- ・「竜の鬚を蟻が狙う(りゅうのひげをありがねらう)」
弱小のものが、自分の力を顧みず強大なものに立ち向かうたとえ。また大それた計画や無謀なことをすることのたとえ。